

牛朱別川は19世紀の開拓時代から何度も洪水を起こしてきました。牛朱別川の洪水を石狩川へ分流させる水路として建設されたのが永山新川です。昭和59年の計画着手から、地域の理解と協力を得ながら、20年の歳月をかけ完成しました。「地域に親しまれる川づくり」をめざし、自然とのふれあいや地域との連携を柱に水辺空間を整備してきました。白鳥は春と秋、渡りの休憩地点として、この川にやってきます。平成5年に初飛来し平成10年から本格的に来るようになりました。

「桜づつみ」

「桜づつみ」とは水鳥や魚類の生息など、地域の貴重な自然との出会いを通して季節を感じられるよう作られたのです。宗谷鉄道線から第2北永橋両岸で49209.83㎡の敷地に320本の高木と960本の底木を配しています。平成18年頃には開花が期待されています。

桜の花言葉「純潔」「心の美」「優れた美人」「精神美」

旭川開発建設部 旭川河川事務所

春、永山新川には南からシベリアに帰る白鳥たちが羽を休めにやってくる
その中に仲睦まじい若い夫婦をみつけた
11年前のことを思い出したよ・・・
あれは、この川の工事が始まり、土が掘り起こされたころのことなんだが
私は、人工的な川などあまり良い気はしていなかったんだ
そんなある日、小さなため池のような所に若い白鳥の夫婦を見つけてねえ
彼らは群れからはぐれたのか、白い体は汚れひどく疲れているようにも見えた
私は、心が痛くなったよ、人が壊した自然にやってくるなんて・・・
しかし、彼らは次の年もその次の年もやってきたんだ
いつしか2羽が5羽になり、5羽が10羽になり
今では1,600羽にもなったじゃないか
今は、この川が好きなんだ
また、秋に彼らが来るのを楽しみにしている

一羽から始まった、
幸せの輪。

